



## 前提条件

---

- [前提条件 \(1 ページ\)](#)

## 前提条件

このセクションでは、Cisco Intersight マネージド モード移行ツールをインストールするための最小要件について説明します。

- Cisco UCS Manager: 3.2(1d) 以降のサポートされているバージョン。
- Cisco UCS Central: 2.0(1a) 以降のサポートされているバージョン。
- サポートされている ESX バージョン : ESXi 6.0 以降。
- 最小 VM 要件 :
  - vCPU X 2
  - 8 GB RAM
  - 100 GB ストレージ
  - ソフトウェア レポジトリ機能用の追加の 10GB ~ 5000GB (デフォルト 100GB)
- OVA で使用される仮想ハードウェア バージョン : 11
- ネットワーク接続の要件 :
  - TCP ポート 443 (HTTPS) (IMM 移行ツール、リリース 1.0.2 以降)
  - トラブルシューティングまたは高度な構成のための TCP ポート 22 (SSH) 。
  - 以下へのアクセスが必要です。
    - DNS (TCP/UDP ポート 53 を使用)
    - NTP (UDP ポート 123 を使用)
    - UCS Manager/UCS Central デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみ)
    - Intersight デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみを使用)

- プロキシサーバー設定への接続（ある場合）
- 構成を Intersight にプッシュするには、Intersight インスタンスへの HTTPS 接続が必要です。
  - SaaS の場合、URL は <https://www.intersight.com> です
  - アプライアンスの場合、URL はユーザーによって提供されます。
- ソフトウェアリポジトリへのアクセスには、HTTPS（TCP ポート 443）接続がオープンである必要があります。

Cisco UCS サーバーおよび Intersight OS インストールで使用するには、UCS サーバーの CIMC IP と IMM 移行ツール VM 間の接続がオープンであることを確認します。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。